



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカチホ
コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 知幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 袖山 英則 TEL 026-221-6677
四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,387	1.6	316	196.7	294	247.7	205	307.8
27年3月期第2四半期	6,287	△6.5	106	△50.0	84	△55.2	50	△54.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 205百万円 (281.0%) 27年3月期第2四半期 53百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	32.88	—
27年3月期第2四半期	8.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	7,035	1,612	22.9	257.69
27年3月期	6,676	1,406	21.1	224.82

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,612百万円 27年3月期 1,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	1.4	180	—	100	—	40	—	6.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	7,275,000株	27年3月期	7,275,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,018,162株	27年3月期	1,016,811株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	6,257,674株	27年3月期2Q	6,258,189株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信〔添付資料〕P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による金融・経済政策等を背景に一部では企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続きました。その一方で、個人消費の拡大に対する期待感はあるものの、円安による原材料価格の高騰や消費者物価の上昇、税及び社会保険料の負担増による個人消費マインドの減退傾向や、不安定な世界経済などの影響を受け、本格的な安定成長を実感するまでには至っておらず、引き続き先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは「改革へのチャレンジ」の年度スローガンに基づき、みやげ事業を中心に販路拡大策の実施や社内業務の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,387百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は316百万円（前年同四半期比196.7%増）、経常利益は294百万円（前年同四半期比247.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は205百万円（前年同四半期比307.8%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社及び当社子会社により地域の特色を生かした商品開発と当社開発のオリジナル商品群の提案による販路拡大を進めたこと、また夏季・秋季の大型連休には北陸新幹線の金沢延伸に伴う同沿線近隣を始めとした各観光地への入込みの増加により受注が伸びた結果、売上高は3,894百万円（前年同四半期比2.5%増）となり、営業利益は283百万円（前年同四半期比35.8%増）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、2015年3月を以って閉鎖した「海老名旬粋店」の影響が引き続き懸念されましたが、4・5月に開催された善光寺御開帳により「善光寺旬粋店」の売上が大幅に伸びたこと、またその他の観光地でも夏季・秋季の大型連休に入込みが増加したことにより、売上高は975百万円（前年同四半期比4.6%増）となり、営業利益は販売費及び一般管理費の一部削減もあり89百万円（前年同四半期は10百万円の営業損失）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、当社や各地の当社子会社及び各観光地の取引先の地域性を活かしたオリジナル商品の開発と提案により受注増加に結びつき、それに対応した積極的な生産活動に努めてまいりました。2015年2月より販売を開始した長野県産の素材にこだわった「りんごのささやき」が引き続き好評を得ていることを始め、各観光地での入込み増加による受注が伸びた結果、営業利益は44百万円（前年同四半期比3250.0%増）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、各種イベントの企画・実施等や接客・サービスのレベルアップに努め、各施設のリピーターの増加に努めた結果、来場者数が増加し、売上高は827百万円（前年同四半期比2.2%増）となり、営業利益は燃料価格の一部低下等により1百万円（前年同四半期は28百万円の営業損失）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は53百万円（前年同四半期比3.2%減）となり、営業利益は一部建物において修繕費の発生により16百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりました。アウトドア用品の売上は好調でしたが、2015年3月を以って閉鎖した長野市内の「パンパン川中島店」の影響もあり、売上高は353百万円（前年同四半期比5.1%減）となり、営業利益は販売費及び一般管理費の減少により23百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、長野市内においてギフト店等の運営が含まれますが、受注が伸びず売上高は282百万円（前年同四半期比11.4%減）、営業利益は12百万円（前年同四半期比51.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ543百万円（21.4%）増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が380百万円、現金及び預金が110百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ184百万円（4.5%）減少いたしました。これは主に有形固定資産が88百万円、投資その他の資産が81百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円（5.4%）増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ303百万円（8.5%）減少いたしました。これは主に短期借入金が376百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ456百万円（27.2%）増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,422百万円となり、前連結会計年度末に比べ153百万円（2.9%）増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円（14.6%）増加いたしました。これは主に親会社株式に帰属する四半期純利益205百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は22.9%（前連結会計年度末は21.1%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日開示の平成27年3月期決算発表時と変更は有りません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項は有りません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項は有りません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,699	1,167,459
受取手形及び売掛金	820,842	1,201,301
商品及び製品	498,318	559,189
原材料及び貯蔵品	72,347	77,219
その他	93,478	83,124
貸倒引当金	△4,512	△8,119
流動資産合計	2,537,173	3,080,175
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,111,247	1,039,329
土地	1,004,650	1,004,650
その他(純額)	299,835	283,656
有形固定資産合計	2,415,733	2,327,635
無形固定資産	92,904	77,546
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,037,571	969,180
その他	606,548	596,676
貸倒引当金	△13,243	△16,018
投資その他の資産合計	1,630,876	1,549,838
固定資産合計	4,139,514	3,955,020
資産合計	6,676,687	7,035,195
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	469,898	588,328
短期借入金	2,525,436	2,148,802
未払法人税等	20,892	85,305
賞与引当金	53,747	61,311
返品調整引当金	4,008	5,431
ポイント引当金	11,096	11,716
その他	505,778	386,341
流動負債合計	3,590,857	3,287,236
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,091,075	1,550,508
役員退職慰労引当金	66,854	66,604
資産除去債務	337,890	341,566
その他	83,046	76,948

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
固定負債合計	1,678,866	2,135,627
負債合計	5,269,724	5,422,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	708,318	708,318
利益剰余金	△100,952	104,802
自己株式	△199,825	△200,132
株主資本合計	1,407,539	1,612,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△576	△656
その他の包括利益累計額合計	△576	△656
純資産合計	1,406,963	1,612,331
負債純資産合計	6,676,687	7,035,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)
売上高	6,287,682	6,387,279
売上原価	4,700,732	4,726,275
売上総利益	1,586,950	1,661,003
販売費及び一般管理費	1,480,149	1,344,082
営業利益	106,800	316,921
営業外収益		
受取利息	4,109	4,096
受取配当金	439	392
仕入割引	1,640	1,841
受取事務手数料	2,276	1,704
その他	5,609	3,613
営業外収益合計	14,075	11,647
営業外費用		
支払利息	35,106	32,931
その他	958	712
営業外費用合計	36,064	33,644
経常利益	84,811	294,924
特別利益		
固定資産売却益	999	596
受取補償金	1,396	—
特別利益合計	2,396	596
税金等調整前四半期純利益	87,207	295,520
法人税、住民税及び事業税	50,044	78,397
法人税等調整額	△13,289	11,367
法人税等合計	36,755	89,765
四半期純利益	50,452	205,755
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,452	205,755

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	50,452	205,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,530	△79
その他の包括利益合計	3,530	△79
四半期包括利益	53,982	205,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,982	205,675
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	87,207	295,520
減価償却費	138,658	131,557
固定資産売却損益 (△は益)	△999	△596
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,360	6,382
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,293	7,563
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	244	1,423
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	327	619
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,500	△250
受取利息及び受取配当金	△4,548	△4,488
仕入割引	△1,640	△1,841
支払利息	35,106	32,931
売上債権の増減額 (△は増加)	△294,514	△380,459
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△96,759	△65,742
営業保証金の減少額 (△増加額)	1,741	47,046
仕入債務の増減額 (△は減少)	44,809	118,429
未払消費税等の増減額 (△は減少)	25,475	△32,801
前受金の増減額 (△は減少)	873	△1,090
その他の資産の増減額 (△は増加)	2,296	△7,353
その他の負債の増減額 (△は減少)	△33,225	△74,906
小計	△78,793	71,945
利息及び配当金の受取額	2,195	2,371
利息の支払額	△35,015	△33,009
法人税等の支払額	△27,279	△16,591
法人税等の還付額	2,486	9,067
営業補償金の受取額	—	4,435
営業活動によるキャッシュ・フロー	△136,407	38,219
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△172,000	△161,000
定期預金の払戻による収入	178,000	176,000
有形固定資産の取得による支出	△77,968	△38,484
無形固定資産の取得による支出	△2,980	—
敷金及び保証金の差入による支出	△23,481	△125
敷金及び保証金の回収による収入	19,416	28,062
その他	1,000	596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,013	5,049

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△400,000	△500,000
長期借入れによる収入	601,072	800,972
長期借入金の返済による支出	△482,153	△668,172
配当金の支払額	△261	—
自己株式の取得による支出	—	△307
財務活動によるキャッシュ・フロー	118,656	82,491
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△95,764	125,760
現金及び現金同等物の期首残高	786,700	816,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	690,936	942,622

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事 業	アウトドア 用品事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高	3,798,698	932,299	—	809,484	55,630	372,616	5,968,729	318,953	6,287,682	—	6,287,682
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	102,150	—	270,547	—	12,050	—	384,747	221,061	605,808	△605,808	—
計	3,900,848	932,299	270,547	809,484	67,680	372,616	6,353,476	540,014	6,893,491	△605,808	6,287,682
セグメント 利益又はセグ メント損失 (△)	208,681	△10,561	1,327	△28,226	19,979	23,467	214,668	26,233	240,902	△134,101	106,800

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事 業	アウトドア 用品事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高	3,894,315	975,220	—	827,625	53,852	353,599	6,104,612	282,666	6,387,279	—	6,387,279
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	106,764	—	355,721	—	12,025	—	474,511	208,095	682,607	△682,607	—
計	4,001,080	975,220	355,721	827,625	65,877	353,599	6,579,124	490,762	7,069,886	△682,607	6,387,279
セグメント 利益	283,462	89,010	44,463	1,179	16,341	23,945	458,403	12,678	471,082	△154,161	316,921

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。